

# 筆の話

## ●筆のおもな産地

愛知・奈良・広島など国産の筆を和筆と称し、これに対して中国産の筆を唐筆と呼びます。

## ●穂先の原料

獣毛筆…羊毛・山羊毛・馬毛・鹿毛・狸毛・りす毛・鼬毛・猫毛  
鳥毛筆…鶏毛・鶴毛・孔雀毛等

## ●穂先の形

穂先には、仕立筆・さばき筆・巻筆の三種があります。

仕立筆（水筆）…穂先を糊でかためてあります。

さばき筆…糊で固めず毛のままで仕上げます。

巻筆…穎鋒の回りを薄書院紙で巻く（今日、ほとんど使用されていません）

## ●毛の剛柔

毛の剛柔によって、剛毛・兼毛・羊毛と呼びます。

剛毛筆…毛質が硬く腰の強い馬毛・りす毛・鼬毛等茶系 用途…学童・初心者向き

兼毛筆…中心に剛毛を使い外側に羊毛を巻いて作った筆、剛毛より腰が弱い。用途…中級者向き

柔毛筆…羊毛で毛は白色・高級品程「こさき」から「のど」がアメ色をしています。

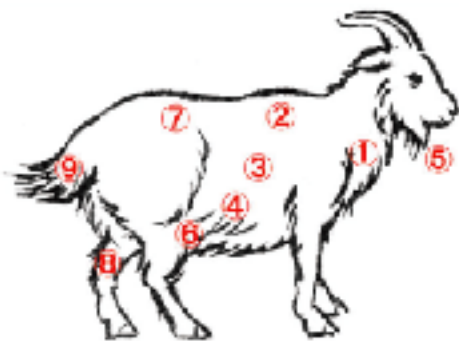
腰は柔らかく弾力性に富んでいます。用途…上級者向き

## ●羊毛の話

筆に使われる羊は、中国長江（揚子江）下流地域のごく限られた地方に飼われている食用の特殊な羊で、その数も非常に少なく、大変な貴重品です。

又、一匹の羊の毛も、雄、雌、部分によって何十種類にもより分けられ、それぞれ性質の異なる筆原料になります。

特に細光鋒はなんとも言えないあの書き味の、最高級羊毛筆原料として重宝されている事は、広く知られています。



羊のどの部分よりどの筆毛がとれるのか簡単に記してみました。

- 1 頭部……………雄羊、細光鋒、粗光鋒、雌羊、直鋒……………毛丈は長く毛筋は細い
- 2 背筋部……………細長鋒、長羊毛……………毛丈は長く毛筋は細い
- 3 肩部……………白黄尖鋒、黄尖鋒……………毛丈は長く毛筋は粗い
- 4 脇部……………蓋尖鋒、白黄、鋒、透爪鋒、脚爪鋒……………毛丈は短く毛筋は細い
- 5 顎下部……………羊須（ヤンス）……………毛丈は短く毛筋は細く特に先がよい
- 6 腹部……………脚爪鋒、上爪鋒、粗爪鋒……………毛丈は長いが弾力なし
- 7 背部・腰部…棟南鋒、中短鋒、堤短鋒……………毛丈はさらに短い
- 8 腿部……………脚爪鋒、上爪鋒、粗爪鋒……………毛丈は長く毛筋は粗い
- 9 尾部……………羊尾（ヤンオ）……………毛丈は長く弾力有り



筆の各部の名称  
こさき・のど・胴  
腰・すげこみ・軸